

撤収手順

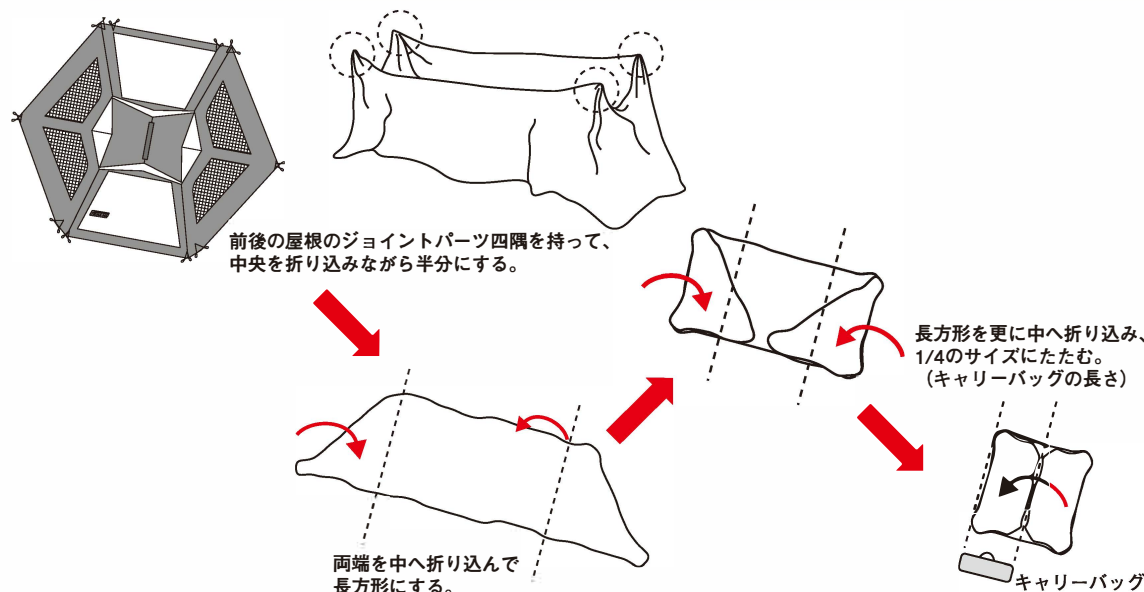
STEP 1

タープを固定したペグ、ポールをすべて外して、下図のようにしてたたみます。



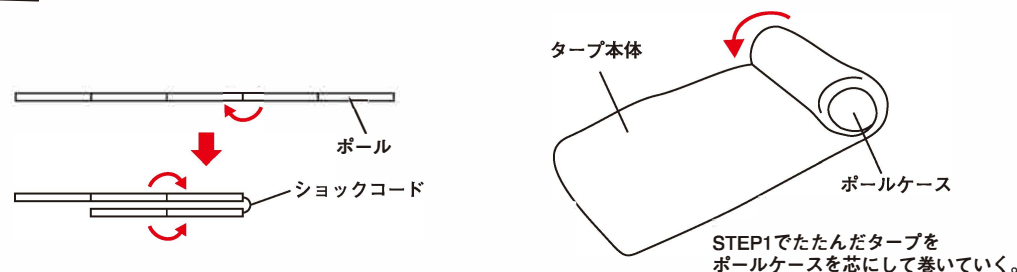
注意

テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



STEP 2

ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス: **0120-111-957**

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

WEATHERMASTER® SCREEN TARP /400

[ウェザーマスター® スクリーンタープ/400]

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的に2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

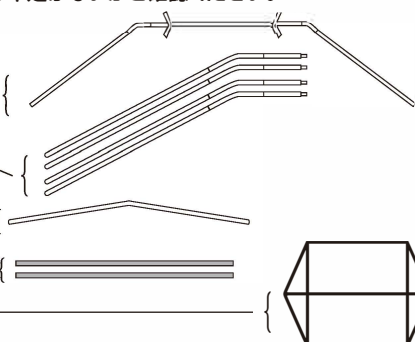
各部の名称・セット内容

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体（フライシート）
- メインポール
- レグポール
- リッジポール
- キャノピーポール（グレー）
- スタンディングテープ
- 自在ロープ（グリーン）
- 自在ロープ（ベージュ）
- ペグ
- ハンマー

- 1張
- 1本
- 4本
- 1本
- 2本
- 1セット
- 2本
- 7本
- 15本
- 1本



設置時



設 営 手 順

I スタンディングテープを広げる

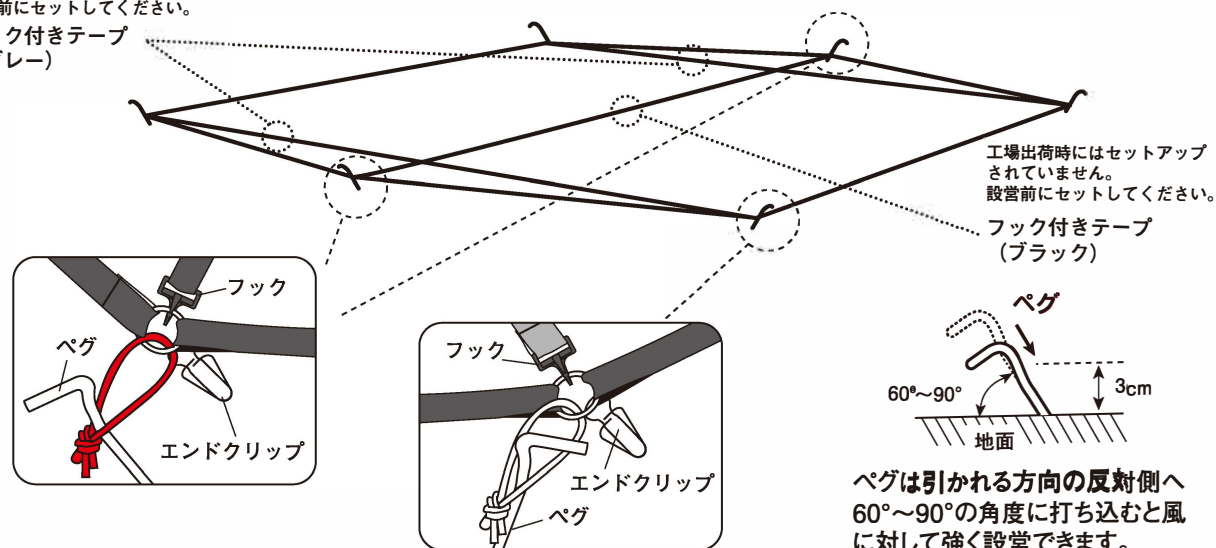
STEP 1

スタンディングテープをねじれないように広げます。
最初に中央のループが赤のコーナー2ヶ所を引っ張りペグで固定します。
次に残りの4ヶ所のコーナーをペグで固定します。

※スタンディングテープは工場出荷時はバラバラになっています。

図のようにセットアップしてからSTEP1にお進みください。

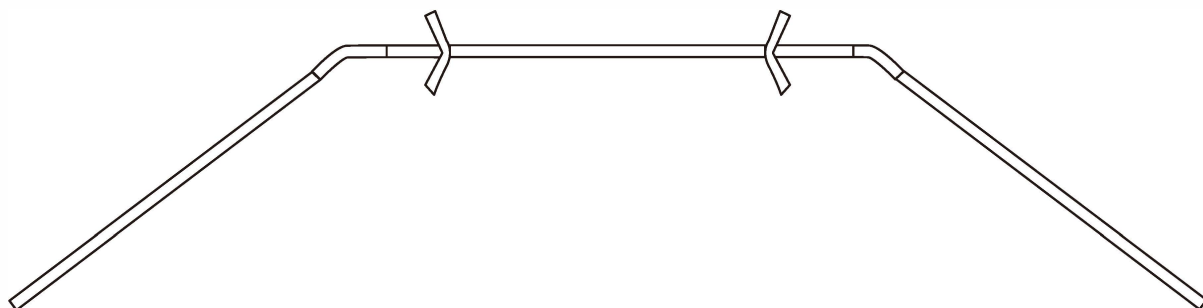
工場出荷時にはセットアップ
されていません。
設営前にセットしてください。
フック付きテープ
(グレー)



II メインポールをセットする

STEP 2

メインポールを伸ばします。

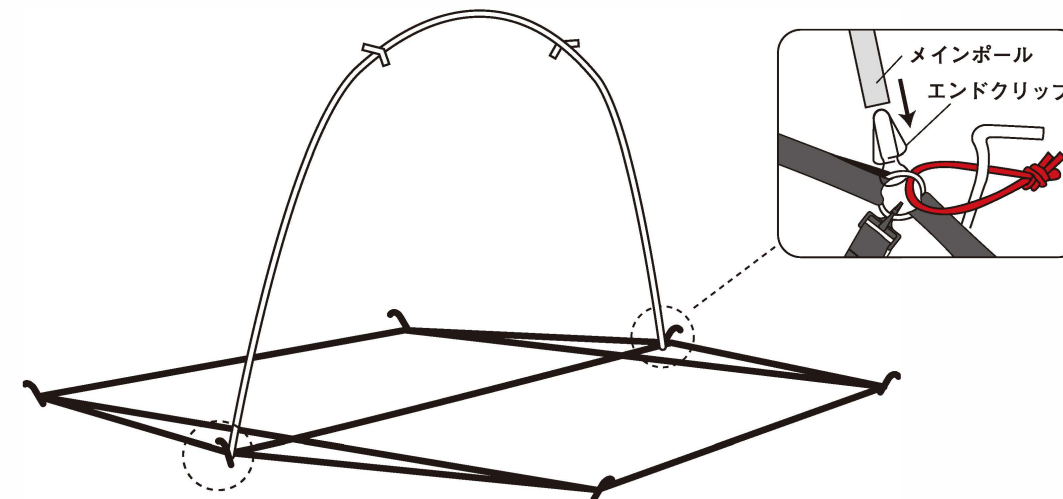


注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3

メインポールの端をエンドクリップに差し込み、メインポールを立ち上げます。
この状態ではメインポールは自立しません。



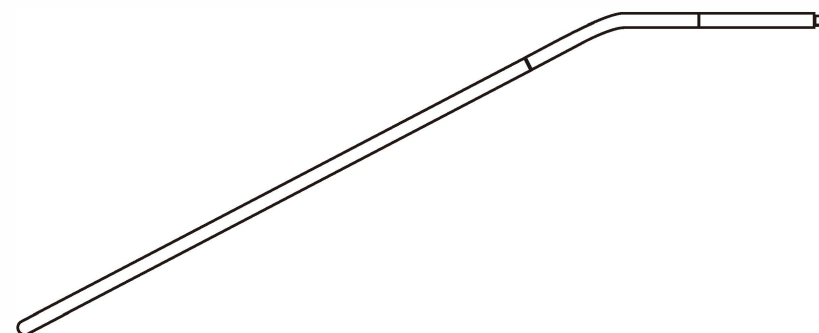
注意

ポールをエンドクリップ(エンドピン)に差し込む際、指などを
はさまないように注意してください。

III フレームを立ち上げる

STEP 4

レッグポール4本を伸ばします。

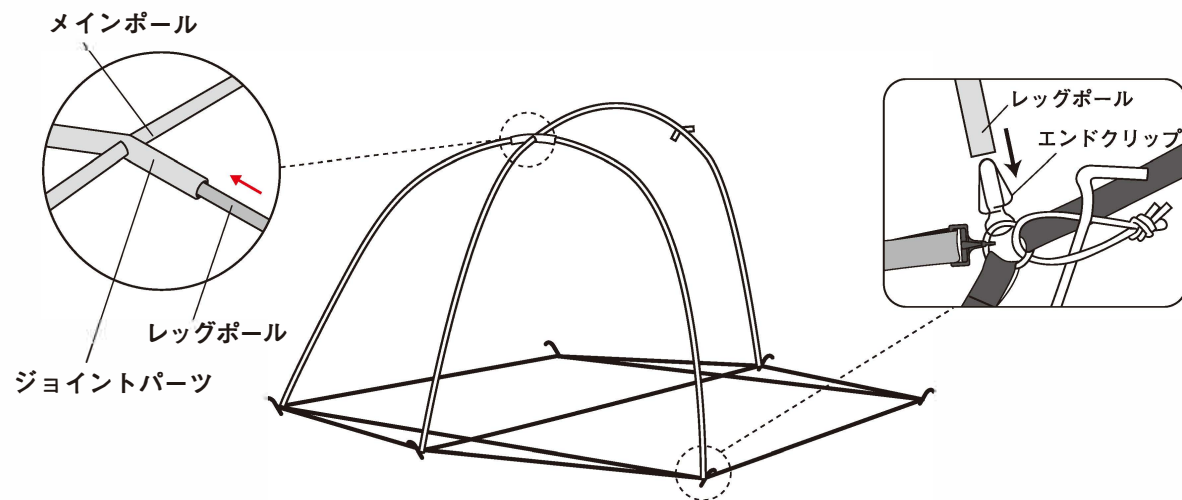


注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 5

メインポールのジョイントにレッグポールを差し込み、メインポールとレッグポールを立ち上げます。片側2本のレッグポールを立ち上げることで、フレームは自立します。



注意

立ち上げの際にはポールのはね返りにお気をつけください。また、ポールを差し込む際には指をはさまないように気をつけてください。

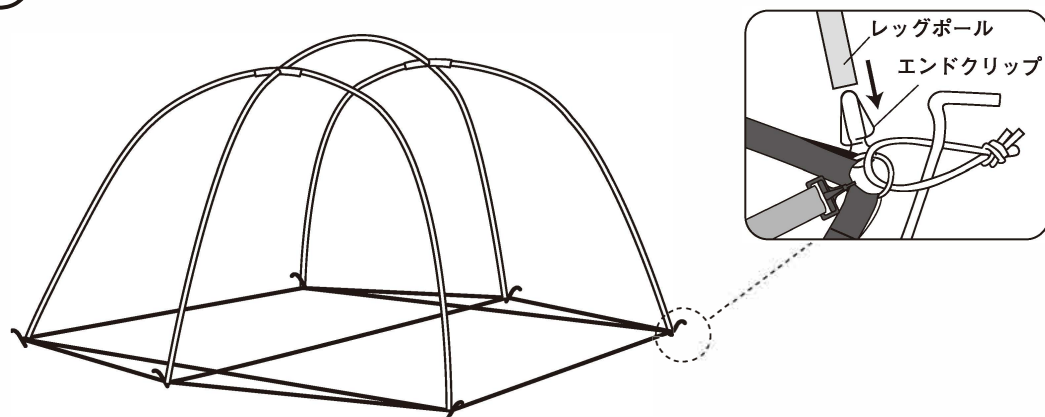


注意

ポールをエンドクリップ (エンドピン) に差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

STEP 6

残り2本のレッグポールをメインポールのジョイントに差し込み、レッグポールを立ち上げます。



注意

立ち上げの際にはポールのはね返りにお気をつけください。また、ポールを差し込む際には指をはさまないように気をつけてください。



注意

ポールをエンドクリップ (エンドピン) に差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

IV

リッジポールをセットする

STEP 7

リッジポールを伸ばします。

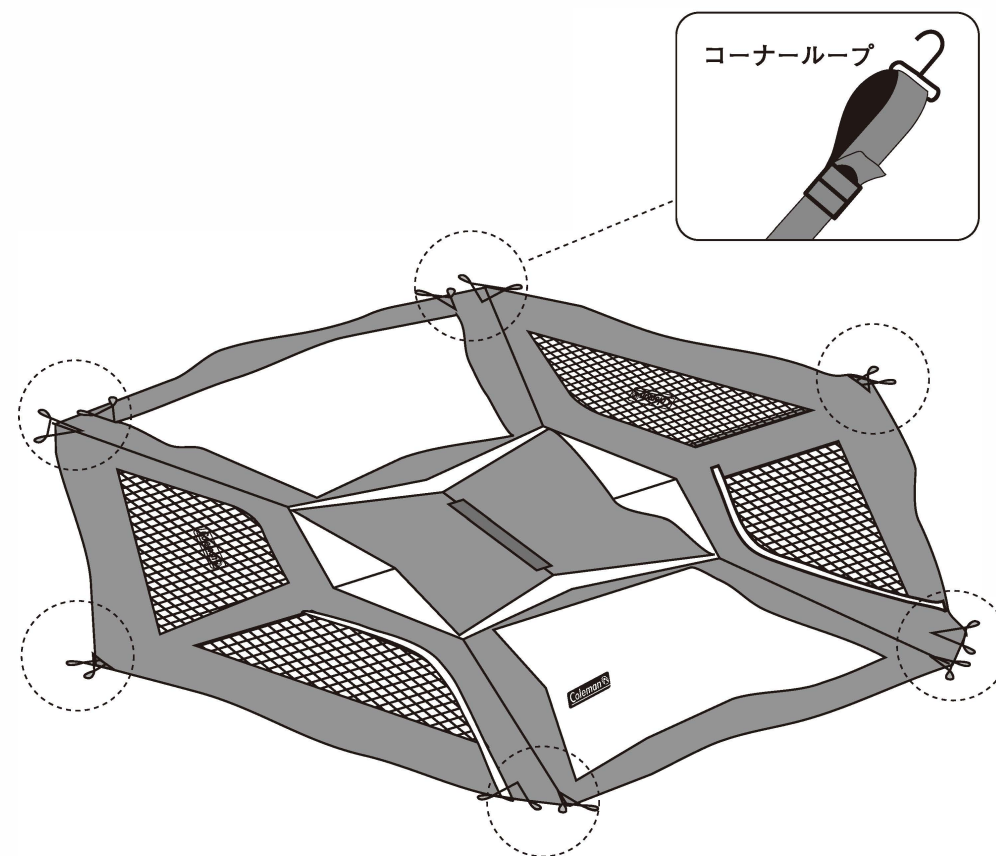


注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 8

本体を広げ、コーナーループ6ヶ所を緩めます。

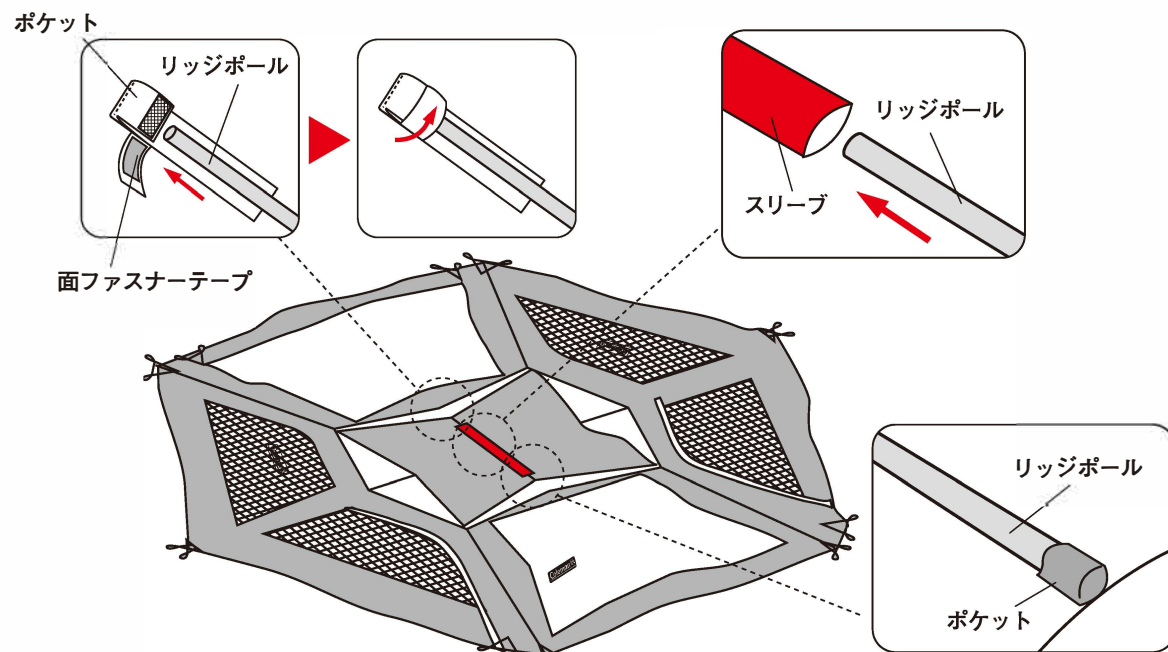


注意

本体をひろげる際には、出入り口ファスナーを閉じてください。広げたまま設置すると、あとでファスナーが閉じにくくなる場合があります。

STEP 9

リッジポールを本体天井の赤いスリーブに通し、ポール端部をポケットに差し込みます。片側は差し込んだあとに面ファスナーテープで固定します。



注意

ポールを通す際は必ずスリーブを持って押し込んでください。スリーブを持たずに押し込んだり、ポールを引き入れようとすると、ポールやスリーブが破損するおそれがあります。

V

本体をフレームにセットする

STEP 10

本体（フライシート）をフレームの上にかぶせます。



STEP 11

本体の端についているフックを、スタンディングテープのコーナー6ヶ所にあるリングにかけます。

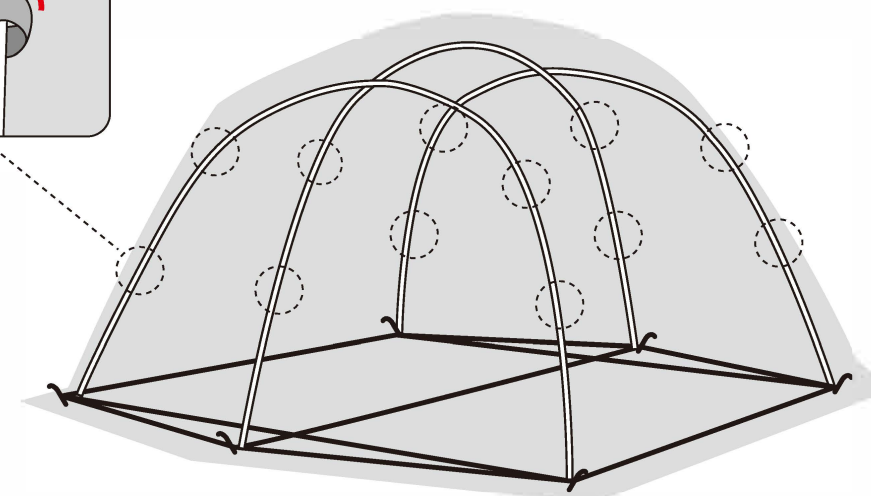
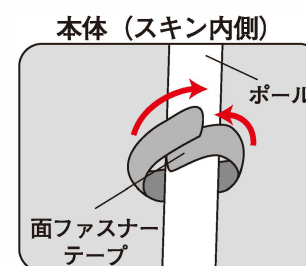


注意

フックを掛ける際に、手をはさまないように気をつけてください。

STEP 12

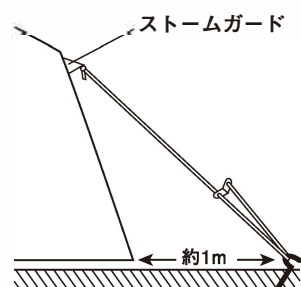
本体内側についている面ファスナーテープをフレームに止めて固定します。



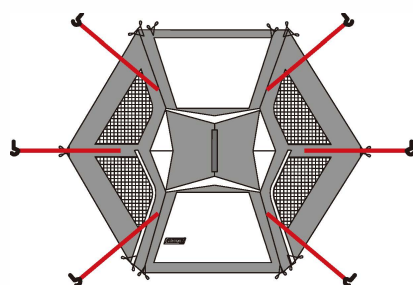
VI 設営位置を決め固定する

STEP 13

ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、タープの安定性を高めます。各コーナーのストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。



上図の要領にて6ヵ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。その際、ロープはポールを挟むように交差してペグ打ちしてください。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



注意

大きなサイズのタープは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

VII キャンプの活用など

STEP 14

前室をキャンピーとして使用する場合は、付属のキャンピーポールを使用します。

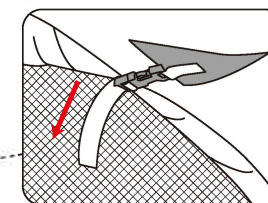
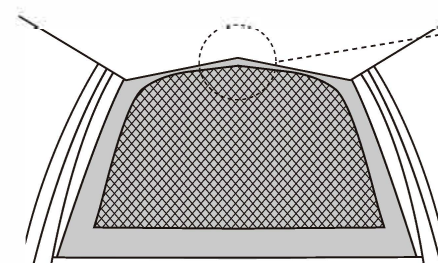


注意

雨天にキャンピーとして活用する場合は水がたまりやすくなります。その際はキャンピーに傾斜を作るか、図のように中央部にロープを結びペグ止めして雨水を流してください。風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

ハイビューシステム

フロントキャンピーの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取りキャンピーを高く使用できます。

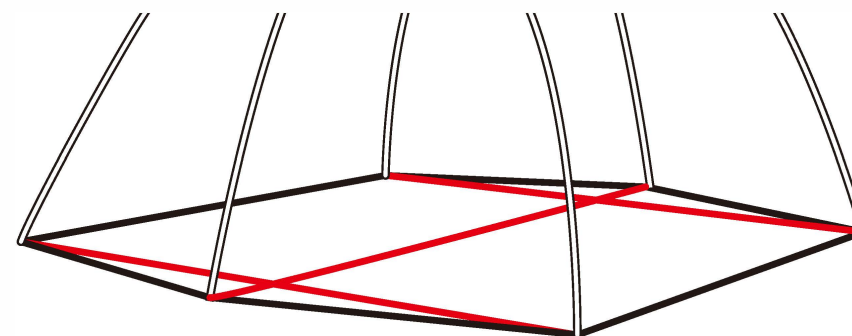


注意

雨天時にキャンピーを使用する場合は、ハイビューシステムのバックルを外してください。

STEP 15

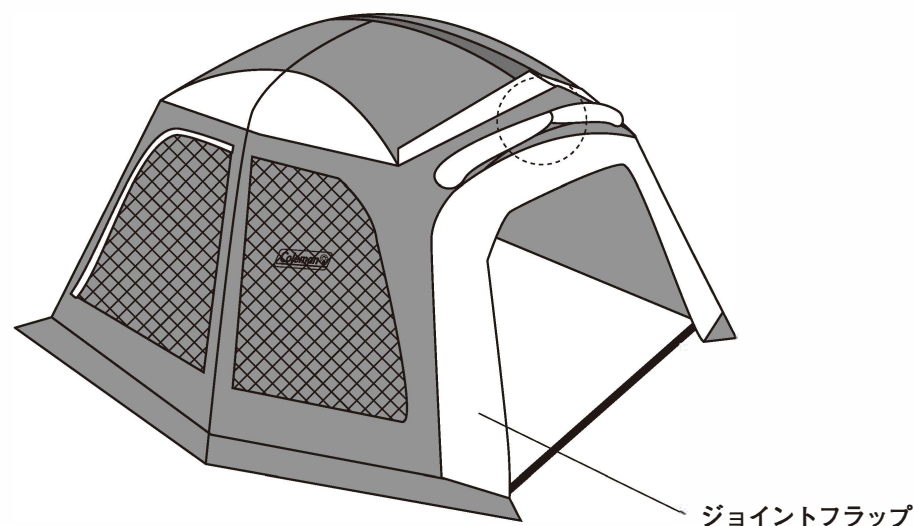
設営後に、スタンディングテープに足を引っ掛けるなどのおそれがある時は、スタンディングテープの中央部を外すことができます。(下図赤位置)



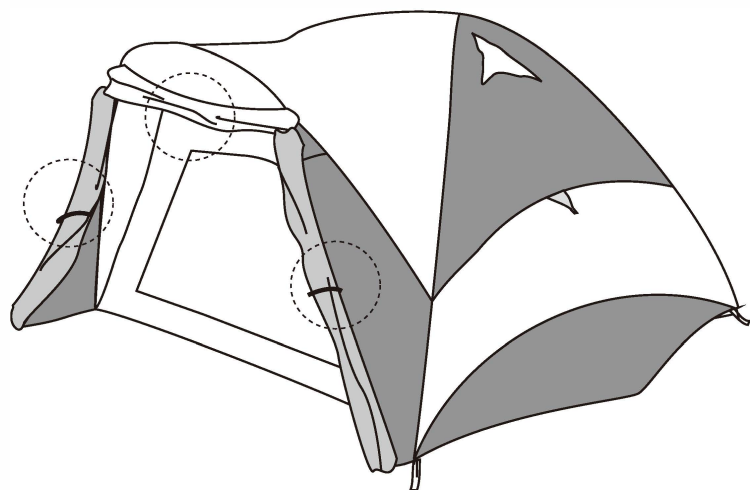
I テントとの連結

本製品は、コールマン製のキャノピータイプのテントとジョイントが可能です。
ジョイントはタープ設営後に以下の手順で行います。

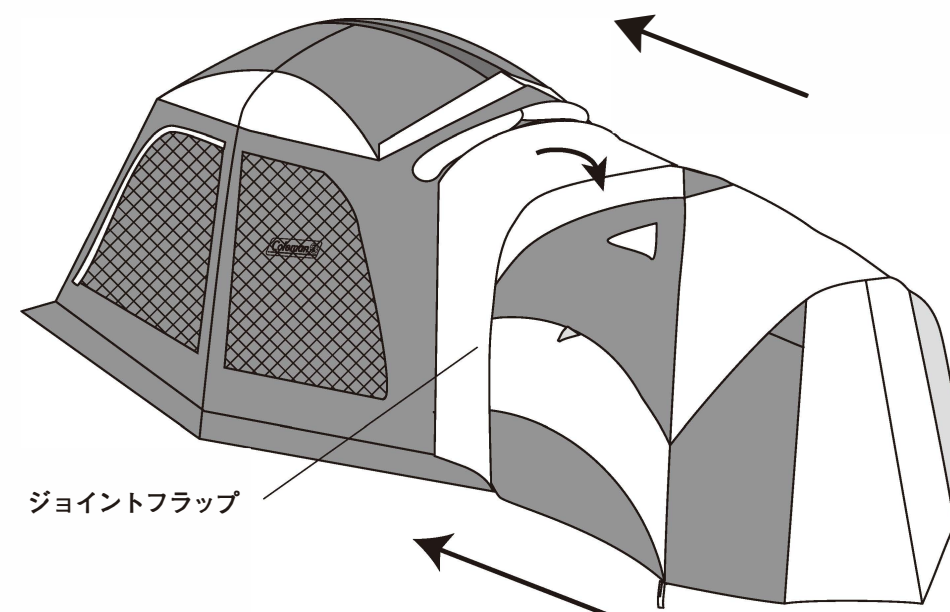
STEP 1 本体後方のフラップおよびメッシュを巻き上げ、本体のジョイントフラップを広げます。



STEP 2 連結するテントのキャノピーとサイドフラップを巻き上げます。



STEP 3 連結するテントをタープの中に移動し、ジョイントフラップをテントにかぶせます。
テントのフロントポールにジョイントフラップがしっかりかぶさる様に調整します。



STEP 4 テント位置を決め、テントをペグで固定します。

●ジョイントフラップの端を固定します。
テント側にフロントポールがある場合は、
テントジョイントフラップ端のループをテ
ントのフロントポール固定ペグに引っ掛け
ます。

●それ以外の場合は、ジョイントフラップ
の端をペグで固定します。



STEP 5

テントジョイントフラップ端に通っているジョイントドロークードをしめこみ、タープとテントを密着させます。

